

あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

発行人 金子 裕昭
編集人 新井 智

〒379-2166
群馬県前橋市野中町361番地2
(群馬県勤労福祉センター2F)
TEL 027-263-0555
FAX 027-261-0549
Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp
URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2014年4月号
No.226

中小労組春闘決起集会 底上げ底支え、格差是正を実現しよう!



連合群馬に集う中小労組が一丸となって今春闘に取り組むため、3月20日、前橋市内にて中小労組春闘決起集会を開催し、春闘情勢を確認するとともに、中小労組代表者からの決意表明と、世論喚起のためのアピールウォークを行いました。

中小労組代表アピール

中小企業は人財こそ最大の財産

八木工業労働組合 真下執行委員長



現在、社会的には景気が良くなりはじめ、企業業績は良くなってきていると言われていますが、我々中小企業では、その恩恵は全く感じられず業績向上に結び

付いていないのが現状です。

労働組合は、会社とは「違う見方」「違う方向」から、少しでも会社を良くするための提案を行う組織だと考えており、役割の1つとして「従業員の士気」を高め、「生活を守る」ために「賃上げ交渉」があると思っています。中小企業は人財こそが最大の財産であり人財の確保なくして中小企業の発展はないことも強く訴える必要があると思います。

本日、中小企業の仲間の皆様と心合わせができましたので、皆様のパワーをもらって「強い意志」で春闘を闘っていきたく思います。

一つの大きな波がうねり出した

連合群馬 櫻井副会長

3月12日に大手先行労組が春闘の山場を迎え妥結をしました。すべての労組が納得いく結果ではありませんが、一つの大きな波がうねり出したと思います。しかしながら、中小労組の賃上げ無くして日本経済の発展はありません。これから中小は、春闘本番を迎えますが、力を合わせて賃金の上昇、底上げを実現するためがんばっていきたく思いますので、皆様のご協力をお願いします。



連合本部からの春闘情勢報告

月例賃金の引き上げへこだわりと自信を!

連合 労働条件・中小労働対策局 松本局長



今春闘、第1先行(大手)組合の結果は、要求組合数、回答引き出し組合数、回答額ともに過去にない伸びがあり、順調なスタートを切れたと捉えています。これらを現在交渉中、またはこれから取り込まれる中小の交渉へ波及させなければいけません。

すでに集約・妥結した先行組合には、グループ・地協のリーダとして支援強化に回っていただき、連合群馬の産別・地協が一体となって取り組んでいただきたい。

今春闘は、昨年の方労使会議から始まり、政府からの積極的な経済団体への要請など、労使間を取り巻く外部環境はこれまでと違うものです。今回、月例賃金の引き上げにこだわった労使交渉での結果は、労使の話し合いで出されたものです。業界・業種によって収益の問題や企業の課題、働く側の問題が山積しますが、月例賃金の引き上げへこだわりと自信をもって全体が一丸となり取り組んでいただきたい。この集大成が2015・2016春闘へつながる大きな転換点となるよう2014闘争を全体で作っていただきたい。

2014トータルライフアップ情報発信中!

最新情報と詳細は、
連合群馬のホームページから
バナーをクリック



産別・地協の新任役員

すべての働く人たちのために、雇用と暮らしを守る連合の取り組みを学ぶ

2月1日、群馬県勤労福祉センターにおいて、産別・地協の新任役員を対象とした研修会を開催し、40名が参加しました。

冒頭、小島副会長より「労働運動には法・理・情にかなっているかが重要。法は憲法・法規を知っているか。理は理路整然と交渉でき、理屈に合っているか。情は「人の気持ちがわからないといけない」「労働運動は使命感、責任感が大事であり、自らの信念に基づいて動かなければ一歩も進まない」など、これからの労働運動のステージで活躍する新任役員に激励の言葉が伝えられました。

セミナーでは、鈴木副事務局長から、連合が1989年に結成されてから四半世紀。この間、連合は、経済や社会の状況が目まぐるしく変化中、すべての働く人々の雇用・労働条件の維持向上、医療・年金・教育・環境などくらしの安全・安心に



心得を語る、小島副会長

かかわる政策提言、「1000万連合」実現に向けた労働組合づくり、労働者保護ルール改悪阻止に向けた取り組み、東日本大震災の復興支援など、様々な活動を「すべての働く人たちのために、雇用と暮らしを守るために」行っていることの説明がされました。

終了後、参加者から「連合の幅広い活動を学ぶことができ、単組の活動だけではなく、もっと視野を広げて連合・産別の運動にも参画しなければいけない」と感想が述べられました。



真剣にメモをとる新任役員のみなさん

パワハラ対策セミナー開催

職場でのいじめや嫌がらせなどのパワーハラスメントを防ぐための対策セミナーを3月8日に群馬県社会福祉総合センターで開催し、産別・地協から143名が参加しました。



21世紀職業財団 吉田仁志氏

21世紀職業財団の吉田仁志氏を講師に迎え、「パワーハラスメントの現状と定義」「パワーハラスメントをおこさないために注意すべきこと」「相談対応と問題の解決処理」について講演いただきました。

パワーハラスメントの行為として「伝染性」「エスカレート性」を例にあげ、最初は仕事上の注意だったものが次第に態度や人格、経歴までが攻撃の対象になること。予防対策として、トップのメッ



パワハラ対策・解決方法を学ぶ

セージの発信やルールを決めること（パワハラ防止規定の制定や労使協定の締結）、コミュニケーションの重要性などの話がありました。

関ブロ女性会議を開催



最近の相談事例を紹介する
松本雇用均等室長

連合関東ブロック女性会議が1月24日・25日、磯部温泉で開催され、関東1都6県から57人が参加しました。

1日目は、連合本部による春闘の取り組みや第4次男女平等参画推進計画についての提起の後、群馬労働局から松本春美雇用均等室長を招き「女性を取り巻く労働環境について」と題した講演が行われ、相談事例として、「介護従事者からの相談が増加傾向」「過労死につながるメンタル疾患や長時間労働が増加」「法違反を承知した中堅社員に対する厳しい仕事内容」「パワハラ・セクハラなどで対応が難しい問題が多く寄せられている」といった特徴などが紹介されました。

2日目は、各地方連合会からの活動報告の後、世界文化遺産登録をめざす、富岡製糸場を訪問し、近代化の歴史や当時の作業内容など、ボランティアの説明を聞きながら見学しました。



世界遺産をめざす
富岡製糸場を見学

3.8国際女性デーシンポジウム開催

女性の地位向上や女性が働きやすい職場づくりへつなげるための「3.8国際女性デーシンポジウム」を3月8日に群馬県社会福祉総合センターで開催し、産別・地協から107名が参加しました。

連合本部男女平等局の鈴木り次長を講師に迎え、女性の尊厳と人権を守るため、男女雇用機会均等法を職場内へ周知徹底し、点検することの必要性について講演をいただきました。



男女平等社会の実現に向け
連合本部鈴木次長

本年は、「3.8国際女性デー」の取り組みとして初めてとなるパネルディスカッションを企画し、コーディネータに連合群馬の政策アドバイザーであるフリーアナウンサーの新木睦子氏を、パネリストに男女平等担当の吉田副会長、女性委員会の齋藤委員長（J P 労組）、信越化学労組の小川委員長（化学総連）、議員懇談会の小川あきら県議を迎え、「女性が働きやすい環境づくりをするためには」「ハラスメントの無い職場作りをするには」などについて、それぞれの立場からお話しいただき、最後にアピール（案）が確認されました。

シンポジウム終了後に、前橋駅前ならびに市街地において、国際女性デーのシンボルマークが「パ

ンとバラ」であることからバラグッズ入りティッシュを配布し、県民へのPRを女性委員会のメンバーが行いました。



各組織を代表し意見を出すパネリストの皆様

【3.8国際女性デーとは】

1857年にニューヨークで起きた工場火災で、多くの女性たちが亡くなったことを受け、3月8日に低賃金・長時間労働に抗議する集会が開かれたことが起源です。



前橋駅前でのPR行動

その後、国連においてこの日は、「女性の権利と平等のために闘う記念日」と位置づけられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳、人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、今も世界各国で様々な行動が展開されています。

ぐんま労福協 第2回勤労者福祉セミナーに参加

1月25日、勤労福祉センターにおいて、ぐんま労福協主催による第2回勤労者福祉セミナーが開催され、75名が参加しました。

第1部では、南三陸町社会福祉協議会事務局長で同町ボランティアセンター長の猪又隆弘氏より、「負けてたまるか!! 震災との戦い」と題した講演が行われ、



震災当時を語る、猪又事務局長

東日本大震災により全てを失った南三陸町の被害状況や、ボランティアセンターの立ち上げから現在に至るまでの主な出来事や課題の検証がなされました。

また、南三陸町における課題を紹介し、震災から2年以上が経過した被災地の現状について語り、被災地ではまだまだ支援の手を必要としている実情が語られました。

第2部では、ぐんま労福協が開催したボランティアへの参加者を代表して、高草木副事務局長（連合群馬）、あべともよ県議から活動報告と感想が述べられました。

「駅伝における人材育成と チームマネジメント」

3月15日、上武大学駅伝部監督の花田勝彦氏を招き、アニバーサリーコートラシーネにおいて、ぐんま労福協主催による第3回勤労者福祉セミナーが開催され、90名が参加しました。

講演では、長距離陸上選手として高校から大学、企業に入社してから引退、そして、上武大学駅伝部の監督に就任するまでの経緯や、箱根駅伝に出場するまでの選手育成、チーム作りについて話されました。

また、競技力のほか、人間力をつけるために、合宿では必ず読書をし、知識の向上に努めたことや、それぞれの分野で選手をサポートできる組織づくりに入力してきたことなどが話されました。「組織が何かをしてくれるのではなく、自分たちが組織の為に何ができるかが大切で



選手の育成について語る花田監督あり、皆がそう思って行動すれば組織は変わる」との思いが述べられた他、講演後には「選手のやる気を引き出す工夫について」など、参加者との質疑を交わしました。

連合群馬 議員懇談会 平成26年度 県予算学習会を開催

2月13日、連合群馬議員懇談会は、群馬県勤労福祉センターにおいて、群馬県における平成26年度予算の編成を受け「予算学習会」を開催しました。景気回復・成長予算と銘打ち、総額6,815億8,700万円（前年対比+2.3%）の内訳や重点施策などについて、県総務部財政課の服部次長より説明を受けました。

景気回復の動きを県内隅々に行き渡らせ、群馬県が将来にわたって持続的に発展していけるよう、基本目標にあげている「地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり」「誰もが安全で安心できる暮らしづくり」「産業活力の向上・社会基盤づくり」の3つの柱それぞれの予算について詳しく説明されました。

意見交換では、本年4月から納税することとなる「みどりの県民税」



の活用に関して、地域からの事業申請の方法の質問がだされるなど、有意義な場となりました。

平成26年度予算は、3月19日、高崎コンベンション施設建設に係る部分について、議会の承認を得てから執行するとの付帯決議とともに賛成多数で議決されました。



説明を行う県総務部財政課服部次長
 説明を行う県総務部財政課服部次長
 高崎コンベンション施設建設に係る部分について、議会の承認を得てから執行するとの付帯決議とともに賛成多数で議決されました。

予算議会の模様は、群馬県HPから議会録画中継で確認できます。是非チェックしてみてください。

予算の説明に聴き入る議員懇談会員

栄村で除雪ボランティア

2月22日～23日、ぐんま労福協主催の震災復興ボランティアに産別・地協から27名が参加し、震災で大きな被害を受けた長野県栄村の2施設周辺の除雪作業を行いました。

栄村が運営するトマトの国と国際絵手紙タイムカプセル館の建物周辺には、重機で取り除くことができない雪が人の背丈以上積もっており、人手による除雪が必要な状態であり、スコップを使って丁寧に除雪しました。

参加者は、「過疎化が進む栄村の発展に少しでも貢

献したいと思い参加した」「豪雪地域で暮らす人たちの苦勞が分かった」と話していました。

除雪ボランティアは、東日本大震災により被災した地域の支援活動として、2012年2月から手掛けており延べ108名を派遣しています。



一致団結して雪と格闘した参加者

連合群馬ふれあいフェスティバル開催決定!!

【昨年の開催風景】



協力団体による模擬店（安中） 震災復興支援ブース（伊勢崎） 地元高校のブラスバンド（桐生） 子ども達のチアリーディング（渋川）

5月25日（日）開催			
桐生会場	笠懸野文化ホール（パル）	渋川会場	渋川スカイランドパーク
伊勢崎会場	あずま総合運動公園	藤岡会場	ららん藤岡
太田会場	太田市新田陸上競技場	富岡会場	富岡小学校・体育館
沼田会場	川場村体育館	安中会場	安中市文化センター
館林会場	いずみの杜	吾妻会場	バイテック文化ホール
6月1日（日）開催			
前橋会場	前橋公園 みどりの散策広場	高崎会場	もてなし広場